

健康 ぷらざ

気をつけよう、夏のかぜ

- プール熱(はやり目) -

指導：松平小児科院長

松平 隆光

企画：
日本医師会

No. 79

高熱がつづきます

アデノウイルスによって夏に起こる子どもの病気です。プールを通じて流行するので「プール熱」とか、結膜炎を起こして、のどの痛みも強いことから「はやり目」、「咽頭結膜熱」などと呼ばれています。

高熱は4～5日つづいて頭痛や吐き気、腹痛、下痢、咳などが出ることもあります。一般的にはおよそ1週間ぐらいで治ります。

水分補給と消化のよい食事を

特別な治療薬はありません。熱が出たら解熱剤や鎮痛剤などを使い、水分を十分とって消化のよい食べ物をあげましょう。高熱がつづいて不安でも、解熱剤の使い過ぎには要注意です。

入浴は高熱のときや元気がないとき以外は、がまんすることはありません。



こんなときは

かかりつけ医へ

水分を飲まなくなったり、ぐったりして元気がなかったら、早めに診察を受けましょう。

予防は？

学校伝染病の第2種に指定されていて伝染しやすい病気ですが、予防接種はありません。流行しているときには、手をよく洗い、タオルの貸し借りなどは禁止です。

万一かかってしまったら、熱やのどの痛みが消えても2～3日は学校や幼稚園は休ませましょう。

